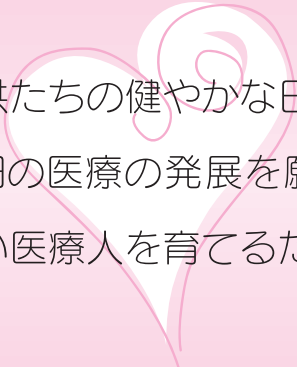

献体について



子供たちの健やかな日々と
明日の医療の発展を願って
良い医療人を育てるために

愛媛大学白菊会

愛媛大学白菊会入会のご案内

1. 入会申込書受付：常時受け付けています。

締切日まで書類をお預かりしますので、入会申込書のお預かり番号（会員になった番号ではありません。）をハガキにてお知らせします。

2. 申込書締切日：毎年3月31日必着

3. 申込方法：

申込書は、この冊子の最後のページに綴じてあります。愛媛大学白菊会入会申込書（両面）及び愛媛大学卒後研修・手術手技研修・臨床研究同意書に必要事項を記入・捺印し、冊子から切り離して愛媛大学白菊会事務局まで送付またはご持参ください。

ご持参いただく場合は、愛媛大学医学部附属病院に隣接しております、愛媛大学医学部学務課（附属病院内ではありません）までお願いします。ご不明な点は下記連絡先までお問合せください。

4. 入会の結果：締め切り後、5月上旬に文書でお知らせします。

文書がお手元に届くまでは、まだ会員様ではありませんので献体はできません。悪しからずご了承ください。

連絡先

〒791-0295 東温市志津川
愛媛大学医学部学務課内
愛媛大学白菊会
白菊会事務局
(平日 8:30~17:15)
電話：089-960-5177 (直通)

☆ 献体とは

献体とは

献体とは、医学・歯学の大学における人体解剖学の教育・研究に役立たせるため、自分の遺体を無条件・無報酬で提供することをいいます。

解剖の種類

解剖には、大きく分けて次のような3種類があります。

1. 正常解剖（系統解剖） 人体の構造をしらべるための解剖
2. 病理解剖 死後、すぐ病変をしらべるための解剖
3. 法理解剖（司法・行政解剖） 変死体の死因をしらべるための解剖

献体に直接関係があるのは**正常解剖**で、医学・歯学教育の基礎といわれております。良い医療人を育てるためには全身の構造を学ぶ「解剖学」の教育を充実させることが絶対に必要なことなのです。

献体の意義

将来、医療人になろうとする学生が医学の勉強を始めるにあたり、「人体解剖学実習」で「より良い医療人になるために、自分の身体を使って十分に勉強してください。」という願いをこめて献体されたご遺体によって学習することにより、学生は人体解剖学の知識の習得と同時に、献体に対する感謝の気持ちと、その期待に応える責任と自覚をもつという点で、大きな精神的教育を受けています。

献体の最大の意義は、みずからの遺体を提供することによって医学教育・研究に参加し、学識・人格ともに優れた医療人を養成すると同時に、日々進歩する医学・医療の向上のための礎となり、医療を通じて次の世代の人達のために役立つことにあります。

献体運動の始まり

「人体解剖学実習」が、医学教育のなかで最も大切な基礎となる課程といわれながら、この実習に必要なご遺体が不足し、解剖学教育に大きな支障を来した時代がありました。こうした医学教育の危機ともいえる状況を憂えた方々が、少しでもお役に立つことができるならばと献体を思い立ち、大学に申し出られたことがきっかけとなって献体運動が始まりました。こうして、献体運動はより多くの人々に支えられ、献体の輪がしだいに拡がり、現在の発展をみるに至りました。現在、わが国には60以上の献体篤志家団体があり「愛媛大学白菊会」もこれらの団体の一つです。

「愛媛大学白菊会」をご存じですか

愛媛大学医学部が開設された翌年の昭和49年に「愛媛大学白菊会」が発足しました。この集まりは、献体登録をした人たちで作る組織団体で、会員は愛媛大学医学部に献体することになっています。「愛媛大学白菊会」では、年1回総会を開催して活動方針を話し合い決定しています。また、地区懇談会の開催、会員の投稿する会報「しらぎく」の発行などを通じて、会員間の親睦と交流を図っています。

コ・メディカルの解剖実習について

愛媛大学医学部では、全国に先駆けてコ・メディカルのための解剖実習を行っています。コ・メディカルとは、医師とともに医療を支える看護師、理学・作業・言語療法士、介護福祉士などの専門職をいいます。これらのコ・メディカルスタッフを育成する学校等では解剖学が必修となっていますが、従来は自ら解剖実習をすることはなく、見学にとどまっていた。しかし、医療の進歩とともにコ・メディカルスタッフにも高い専門的知識が要求されるようになり、解剖実習の必要性が高まってきました。そこで解剖学会コ・メディカル教育委員会や全国篤志献体協会連合会が中心になり、コ・メディカル解剖の普及が推進されております。これに対応し、愛媛大学白菊会でも、医師・歯科医師だけでなくコ・メディカルの解剖実習に積極的に協力していくことになりました。

卒後教育及び手術手技研修について

愛媛大学医学部ではこれらの解剖実習に加え、臨床医が新たな手術法の開発や後進の教育に際してご遺体を活用させていただいております。今後、最前線で活躍する医師や教育スタッフにますます高度な卒後教育が求められ、ご遺体の解剖や手術手技研修を行うことが多くなってくると思われます。愛媛大学白菊会では、学生教育のみならず、卒後教育にも積極的に協力しています。

愛媛大学では平成25年に手術手技研修センターが全国に先駆けて設置されました。同センターには医師や歯科医師がご遺体による手術手技を研修するための手術室さながらの最新設備が整備されました。また隣接する法医学講座に新設されたCTにより、ご遺体のCT画像が得られるため、より高度な研修を行うことができます。

臨床研究へのご協力をお願い

会員の皆様のご賛助により、我が国の医療人の技能は世界的にみてもトップレベルにあります。しかし一方で、我が国の医療現場において用いられる医療機器は、そのほとんどが海外製です。残念ながら、海外製の高額医療機器が我が国の医療経済を圧迫しています。そのため愛媛大学では、医学部附属病院が中心となって国産の医療機器・医療技術の開発を鋭意進めております。具体的には、手術・CT等の画像を活用した新技術、人工関節、人工置換弁、インプラントなど臨床研究の結果開発された機器および新規術式やそれに使用する器具等の開発を行っています。これらは、皆様より提供されたご遺体の一部を用いて行うことが可能で、前述の解剖実習や手術手技研修と平行して行うことができます。このように従来に加えてより積極的に医学全般に波及効果のある活用をお願いする次第です。

臨床研究にご参加頂くには、皆様の事前の同意が必要になります（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」文科省／厚労省）。そのため本冊子末尾には、「愛媛大学白菊会入会申込書」に加え、「愛媛大学卒後研修・手術手技研修・臨床研究同意書」として(1)卒後教育・手術手技研修目的での使用および、(2)臨床研究への参加に対する同意書へのご署名をお願いしております。なお、この臨床研究への参加につきましても、会員様の自由なご意思を最優先いたします。そのため、最初は同意なされておられても、その後お考えが変わった場合を想定し「臨床研究同意撤回書」も添付しております。このように、白菊会への入会とは別に、愛媛大学における臨床研究への参加のご意思を伺います。この際もう1点ご注意頂きたいことは、この研究の結果発生する知的財産権等に関しては、愛媛大学に帰属し皆様には権利が発生しない点です。参加による報償などもございません。これは法令の定めるところですので、合わせてご了承のほどお願いいたします。

★白菊会に入会（献体登録）をするには

どこに申し込むのか

愛媛大学白菊会事務局

〒791-0295

東温市志津川 愛媛大学医学部学務課内

電話 089-960-5177（直通）

FAX 089-960-5133

入会申し込みの手順は

1. 申込期間

常時受け付けております。毎年3月31日（必着）に締め切ります。

締切日まで書類をお預かりしますので、入会申込書のお預かり番号（会員になった番号ではありません。）をハガキでお知らせします。

2. 申込方法

愛媛大学白菊会入会申込書（両面）及び愛媛大学卒後研修・手術手技研修・臨床研究同意書に必要事項を記入・捺印してください。

愛媛大学白菊会事務局まで送付またはご持参願います。

3. 申し込み結果

締め切り後、5月上旬に文書でお知らせします。

お手元に届くまでは、まだ会員様ではありませんので献体はできません。

新入会員数について

愛媛大学白菊会発足以来、多くの方々から献体に対するご理解とご支援を賜って参りました。現在の状況は、入会希望者が受入数を上回り、すぐにご入会できない場合もありますのでご了承ください。

会員になるのに条件があるのか

入会について「家族（ご両親、配偶者、子供、孫、兄弟姉妹等）の同意」が必要となります。

また、愛媛大学白菊会に入会できるのは、現在、愛媛県内に在住している人が対象となります。生前、白菊会に入会しておられても、死後、実際にその遺志を実行できるのは遺族（家族）であって、申込者本人ではありません。したがって、ご遺族の中に一人でも反対がありますと献体は実行されず、その遺志が活かされないことにもなりかねません。そのためにも入会の申し込みをする時に、あらかじめ家族の同意を得ておくことは大切です。また、入会後もできるだけ多くの身近な人達に理解してもらおうようその旨を伝えておくことが必要です。家族の同意の印をもらうことがたいへん手間となることもありますが、重要なことですので是非とも同意を得ておいてください。

家族のいない人はどうしたらよいか

「家族の同意」は必要ありませんが、死亡された時に本人の意思を実行に移してくださる方（知人、施設・病院の職員等）が必要です。具体的には、個々の場合で違うと思いますので、詳細については愛媛大学白菊会事務局にご相談ください。

入会金、会費は必要か、遺体の保存や解剖に要する費用はどうか

金銭的負担は一切ありません。入会金、会費等は必要ありません。

また、献体後ご遺体の保存や解剖に要する費用、解剖後の火葬費用等はすべて大学が負担することになっています。

(葬儀の費用は、ご遺族でご負担いただかなければなりません。)

事故等により身体に大きな損傷を受けた場合献体できるか

ご遺体が大学に搬送されますと直ちに、血管より薬剤を注入し防腐処理を行います。そのため、身体に大きな損傷を受けると防腐処理ができなくなるため、以前は献体できませんでした。しかし、現在は次に記載しておりますように、受け入れさせていただいております。

病気や障害、また、手術をした場合にも献体はできるか

医学の進歩によりたとえ癌が見つかってかなりの年月生きていけるようになりました。その結果、ご献体されたご遺体の中には手術をされている場合が多くなってきました。また、かなり進行した状態でも長期間生きておられ、内臓が解剖できない状態のご遺体が少なからず含まれます。癌を観察することは医学生にとって大変勉強になりますので、そのような病変はありがたく学生に供覧させていただいております。しかし、あまりに内臓が侵されている場合は、本来の正常解剖をすることができません。このようなご遺体でも、理学・作業療法士による四肢の筋肉等を中心とする解剖(コ・メディカル解剖)や整形外科の手術手技研修、さらに、脳外科、耳鼻科、歯科による頭部の手術手技研修等には支障がありません。四肢が切断されている場合でも、内臓を中心に解剖や手術手技研修等をさせていただくことが可能です。このように、愛媛大学白菊会では医学生のみならず多くの領域の学生、医師等による異なる目的での解剖をお認めいただいておりますので、使用できないご遺体はほとんどなく、ほほどのような状態のご遺体でも受け入れさせていただいております。

上記のような理由から、以前はお断りしておりました交通事故死や臓器移植後のご遺体も受け入れさせていただいております。

会員証(献体登録証)

会員になると会員証(献体登録証)が発行されます。会員証には、献体先大学名と死亡時の連絡方法などが書かれていますので、大切に保存しておき、家族や身近の方々にもよく知らせておくことが必要です。旅行の時などには、不慮の事故に備えて会員証を身に付けておくことも大切なことです。

白菊会を退会できるか

いつでも退会できます。ご遠慮なく愛媛大学白菊会事務局までお申し出ください。他都道府県へ転居される場合は、転居先の献体組織(白菊会等)へ転籍の手続きをとってください。

★ 死亡されたとき

献体は、通夜・告別式を済ませてからでよいか

通夜・告別式など通常の葬儀を行うことは、献体をする上で少しも障害になりません。通夜・葬儀の後、ご遺体は出棺して火葬場に向かうこととなりますが、献体される場合は、火葬場でなく大学に運ばれる点が異なるだけです。また、献体の場合には、ご遺骨が戻るまでに時間がかかります。遺髪や遺爪をおまつりになりたいご希望がありましたらお申し出ください。

※ ご遺体の移送費と火葬費は大学で負担します。

献体を行うにあたって

会員の方が死亡されたとき、ご遺族または身近な方に次のことをお願いします。

1. 「会員番号、氏名、現住所、死亡年月日及びご遺族代表者の電話連絡先」を大学へ電話でお知らせください。

電話 089-960-5177 白菊会事務局（平日 8：30～17：15）
089-960-5210 当直室（夜間、土・日・祝日、年末年始）

2. ご遺体を大学でお引き受けできる日時及び場所をご指定ください。
3. 大学がご遺体をお迎えに行くまでに以下の書類等を準備してください。
 - (1) 死亡診断書の写し（コピー） 1通
死亡診断書は医師が発行しますので、コピーを取ってください。
 - (2) 埋火葬許可証 1通（後日郵送でも可）
「死亡診断書」と対になっている「死亡届」を役所に提出することで発行される書類となります。「死亡届」を提出する際に、役所窓口に献体されることをお申し出ください（献体の場合は、埋火葬許可書に記載のある火葬場所が通常と異なるため）。
埋火葬許可証は後日郵送でも構いません。
 - (3) 印鑑（認印で結構です。シャチハタは不可）
4. お引き受けの際、「解剖に関する遺族の承諾書」を委託業者が持参しますので、**ご遺族の代表者**が記入・捺印してください。この承諾書をご記入いただいた方に、今後ご遺族代表者として慰霊祭やご遺骨返還式などのご連絡をさせていただきます。

☆ よくあるご質問

申込書の記入は本人ではなくても記入できますか

入会申込書の表部分は、ご本人様に記入していただくことになっております。ご本人の直筆ではない場合は申込書が無効となります。献体の意思はあるが身体的な理由でご本人が記入できない場合は白菊会事務局にご相談ください。

会員としての特典はありますか

「献体」は自発的な善意に基づく行為であって、種々の見返りを要求することは本意ではありません。よって白菊会に入会した場合の特典に類するものはありません。

ドナーカード（臓器提供の意思表示）、アイバンク登録は白菊会に入会していてもできますか

移植のための臓器は日本では非常に不足しておりますので、会員の皆様には積極的に臓器提供をしていただけて結構です。また、アイバンクの趣旨にご賛同いただける当白菊会会員様につきましては、将来ご献体されます折、片眼のみ献眼いただくことができますので愛媛アイバンクにお問合せください。

遺体の保存方法はどのようにしていますか

大学で防腐処置をした上、実習の時期まで一体ずつ丁寧に保管庫に安置します。

献体をしてもお骨は返してもらえるのか

ご遺骨はかならずお返しいたします。ただし、献体されたのち、ご遺骨がご遺族に返還されるまでの期間が、普通は2年～3年、長い場合には3年以上お待ちいただくこともあります。これは、以下のような理由によるものです。

1. 防腐処理等の解剖準備期間として3～6か月が必要です。
2. 解剖実習は、通常4か月行われます。
3. 実習は大学で決められた時間割によって行われるため、その年の実習に間に合わない場合には翌年の実習まで保管されることになります。
4. 献体登録者が同時期に多く亡くなられた場合など、保管遺体数が増加する場合があります。

大学の公式行事として、原則毎年11月1日（土・日曜日の場合は、前日または前々日の金曜日）に慰霊祭及びご遺骨返還式が行われています。

解剖学実習後ご遺体は一体ごとに大学側で丁寧に火葬し、慰霊祭終了後に引き続いて行われるご遺骨返還式にて、実習を行った学生から直接ご遺族にご遺骨が手渡されます。当日式に参加できないご遺族には、白菊会事務局の担当者をご遺骨をお返しに参ります。なお、返骨式以外の日に大学までお受け取りに来ていただくこともできます。また、ご希望によりご遺骨を大学の納骨堂にお納めすることもできます。

ご遺骨の返還の年（火葬を行う年）となりましたら、ご遺族代表者に事前にご遺骨返還についてお手紙でお知らせいたします（例年夏～秋頃）。

愛媛大学医学部の納骨堂は余裕が無いと聞きましたが、まだ納骨は可能ですか

愛媛大学開学期は納骨堂に納骨される方が年間数名でしたが、現在は年間30名以上となり、数年後には満杯となります。全国的にも増加しており、すでに納骨を断る大学も出てきています。愛媛大学では白菊会役員会と総会で検討した結果、現在使用している骨壺より小さく、主に京都市等の関西圏で使用されている骨壺を使用することになりました。これにより、当分の間は納骨が可能となりました。以前から納骨されているお骨も、小さな骨壺に収め、残りのお骨は合祀されることになりました。

会員
番号

愛媛大学白菊会入会申込書

令和 年 月 日

愛媛大学白菊会理事長 殿

医師・歯科医師のみならず、コ・メディカル分野も含め「良い医療人を育てる為に献体を行う」とする貴会の趣旨に賛同し、家族に反対者がいませんので、家族の同意書を添えて入会の申し込みをいたします。

ふりがな
氏名

男・女
印

この申込書を印刷した
大正 昭和 平成 年 月 日生
もの[〒]では
住所
受付できません。
電話 ()

(お願い)

- 文字は必ず本人が楷書で書いてください。
- 氏名は戸籍と同じ字で書いてください。
- 申込時の内容が変更した時は必ずお知らせください。
- 氏名には「ふりがな」を必ずご記入ください。

※愛媛大学白菊会入会申込書（両面）及び愛媛大学卒後研修・手術手技研修・臨床研究同意書に記入された内容につきましては、当会所定の目的にのみ利用いたします。

令和 年 月 日

愛媛大学白菊会理事長 殿

入会申込者が貴会の趣旨に賛同し、貴会を通じて遺体を医学歯学の教育研究ならびに、手術手技研修のため、愛媛大学の解剖学教室に寄贈することに、私共は心から同意し署名捺印します。

〒
住 所 _____

電 話 () - _____

同意者氏名 ふりがな ⑩ (会員番号:)

本人との続柄

〒
住 所 _____

電 話 () - _____

同意者氏名 ふりがな ⑩ (会員番号:)

本人との続柄

〒
住 所 _____

電 話 () - _____

同意者氏名 ふりがな ⑩ (会員番号:)

本人との続柄

1. 同意者は**2名以上**でお願いします。
2. **同意者ご本人が必ず記入してください。**(楷書で丁寧に、ふりがなも書いてください。)
3. 同意者が当会会員の場合、氏名の後に会員番号を記入してください。

※ 同意書の記入について不明な点は事務局までお問い合わせください。

切

取

線

会員 番号	
----------	--

愛媛大学卒後研修・手術手技研修・臨床研究同意書

令和 年 月 日

愛媛大学医学部解剖学主任教授 殿
愛媛大学医学部附属病院長 殿

(1) 卒後教育・手術手技研修目的での使用への同意書

医師・歯科医師による卒後研修や手術手技研修等の臨床医学の教育目的での使用についても、その趣旨に賛同し同意します。

本人の氏名 ふりがな

代諾者の氏名 ふりがな

(続柄)

(会員さま本人が同意に関して判断ができない場合)

(2) 臨床研究への参加同意書

愛媛大学にて施行される臨床研究（手術手技研修における CT 画像の撮影も含む）における遺体の使用についても、本入会申込冊子（「臨床研究へのご協力のお願い」）に記載の趣旨に賛同し同意します。なお、遺体を使用した臨床研究に伴う画像使用や医療機器開発による研究の成果物に対する権利を放棄します。

本人の氏名 ふりがな

代諾者の氏名 ふりがな

(続柄)

(会員さま本人が同意に関して判断ができない場合)

- 文字は必ず本人または代諾者が楷書で書いてください。
- 氏名には「ふりがな」を必ずご記入ください。

会員 番号	
----------	--

臨床研究同意撤回書

(本書は、入会時には記入せず、お手元に保管してください。)

愛媛大学医学部解剖学主任教授 殿
愛媛大学医学部附属病院長 殿

このたび、愛媛大学における臨床研究実施に際し説明を受け、研究参加に同意しましたが、その同意を撤回します。ただし、撤回表明以前に行われた臨床研究に関しては、この限りではありません。

令和 年 月 日

ふりがな
本人の氏名

ふりがな
代諾者の氏名

(続柄)

(会員さま本人が同意撤回に関して判断ができない場合)



「てのひらを重ね、捧げます、
いただきます」
全国共通献体のシンボルマーク

発行

愛媛大学白菊会

〒791-0295

愛媛県東温市志津川

愛媛大学医学部学務課内

☎ 089-960-5177 (直通)

FAX 089-960-5133

